

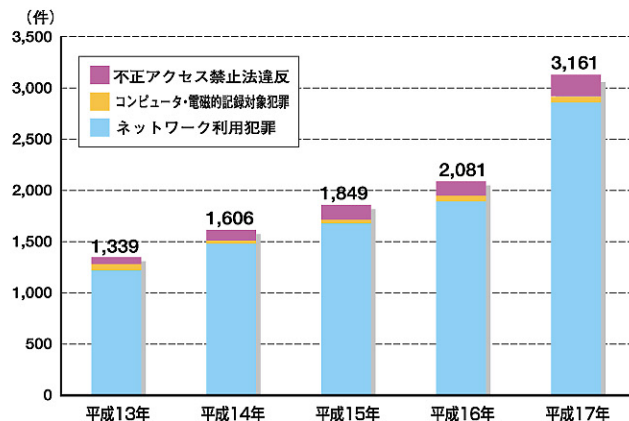
近況レポート 平成17年サイバー犯罪事情

サイバー犯罪の検挙件数

サイバー犯罪（情報技術を利用する犯罪）の検挙件数は3,161件で、前年(2,081件)と比べて1,080件、51.9%増加しました。

(主な特徴)

- 不正アクセス禁止法違反が、277件で前年の約2倍に増加した。
- ネットワーク利用犯罪では、詐欺が1,408件で、前年の約2.6倍に増加した。その内訳はインターネット・オークションを利用したものが多い。

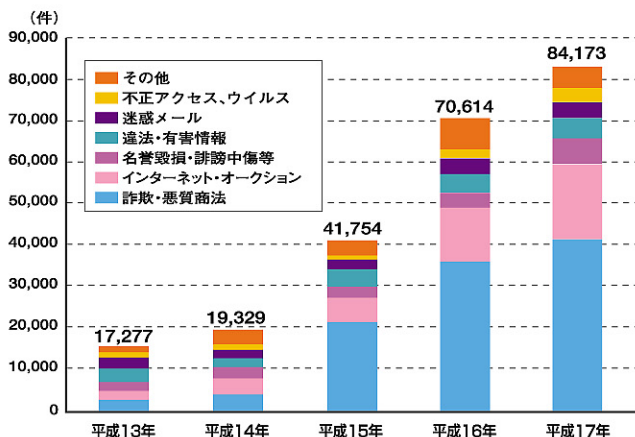


サイバー犯罪等に関する相談受理件数

都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口等が受理した相談受理件数は、84,173件で、前年(70,614件)と比べて19.2%増加しました。

(主な特徴)

- 詐欺、悪質商法に関する相談が約1.2倍、インターネット・オークションに関する相談が約1.3倍に増加した。
- 不正アクセス、ウイルスに関する相談が約1.8倍に増加。オンラインゲームやオークションでの不正アクセスに関する相談が多い。



平成17年の主なサイバー犯罪検挙事例

不正アクセス禁止法違反事件

被疑者（無職・男・34歳）ほか1名は、スパイウェアを作成し、取引上の苦情を装った電子メールにスパイウェアを添付して送り付け、これにより入手した法人のインターネットバンキングに関する情報を使用してインターネットバンキングのコンピュータに不正アクセスを行い、同法人の口座から自己の管理する他人名義の口座に対して約21万円の送金操作を行った。電子計算機使用詐欺罪でも検挙。(11月・警視庁)

児童買春・児童ポルノ法違反事件

被疑者（パイロット・男・50歳）は、インターネット上のゲームサイト内のチャットを通じて知り合った相手が18歳に満たない児童であることを知りながら現金の供与を約束して、児童買春した。(4月・大阪)

詐欺事件

被疑者（無職・男・25歳）ほか3名は、被害者が所持する携帯電話機あてに、利用したことのない有料サイト利用料金支払いを求める内容虚偽の電子メールを送信し、有料サイト利用料金未納の事実が存在するものと誤信させ、現金を振り込ませる方法で約218万円騙し取った。(1月・千葉)

脅迫・強要未遂事件

被疑者（専門学校生・男・23歳）は、児童の生命、身体等に害を加える旨の書き込みをインターネットの掲示板に掲載し、脅迫した。また、同被疑者は、音楽会社社長及び社員の生命、身体等に害を加える旨を、インターネットの掲示板に掲載し、音楽会社社長に対し義務なき行為を要求した。(10月・宮城/11月・警視庁)